

# BB通信

## 10月vol.34



×



関西秋季大会が終わり、野球シーズンからオフシーズンへと変わっていく時期となりました。フューチャーズリーグの試合もありますが、次のシーズンに向けて冬季のトレーニングが増えてくる季節です。この時期は地味なメニューも多いですが、コツコツ取り組む事で選手たちの今後(次の春、夏、高校、大学それより先の期間)の飛躍に大きく関わります。じっと我慢して力を蓄える事で、この先の将来で力を発揮してほしいと思います。それが5年、10年後になるかは、わかりませんが、選手たちの成長を見守っていきたいと思います。

### 「失敗の中から」

代表 瀬野 竜之介

10月も半ばを過ぎ、かなり涼しくなり過ごしやすくなりました。

中学部のフューチャーズリーグも9月は中止も多かったですが、ようやく進みだしました。

この時期は実戦が多くなります。2年生にはミーティングで何度か話をしましたが、特に2、1年生は試合の中でうまくいくこと、そうでないこと、の繰り返しです。

特に野球というスポーツに失敗はつきもの。失敗したことを反省しながらも、試合ではいかに切り替えてプレーするか？が、とても大切です。

チャンスに強い、または弱い、大事なところで活躍できる、出来ない、は、私はいかに、いつでも普段通りできるか？だと思っています。

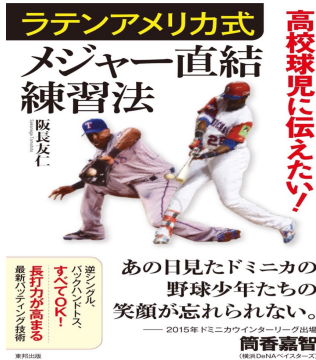
いかに日常生活や、日ごろの練習から、『そのつもり』で過ごしているか？急に試合で上手いこうなんて思うと、普通にはできません。

指導者はそういう君たちの行動、言動、変化をじっくり「観察」しています。失敗した後、どんな顔をしているか？そして前向きに取り組んでいるか？少し元気がないか？

そこで前向きに取り組んでいる君たちの姿を見て、いいタイミングで、いい声掛けをしたいと思っています。

人生も同様です。うまくいかないこともたくさんあります。そこで一喜一憂せず、淡々と自分がすべきことを積み重ねる。

それを大好きな野球を通じて培って(つちかって)ほしいと思います！



堺ビッグボーイズ中学部、阪長コーチが今年7月に出版した書籍を夏休みの読書感想文の課題図書としました。下記に3年生の最優秀賞、優秀賞を紹介しています。まだお読みになっていない方はぜひ！！



### 「読書感想文 最優秀賞」

3年生 向山 晴輝

僕はこの本を読む前にどんな事が書いてあるのか、自分で予想しました。きっとメジャーのことがメインで、メジャーの魅力を伝える本だと思っていました。しかし、いざこの本を開けてみると、僕はとてつもなく驚きました。なぜなら、堺ビッグボーイズの事がたくさん書いていたからです。なので、本を読んでいる間に、阪長コーチからミーティングの復習をされてるかのように感じました。

その本の中でも、1つ心に残った一文です。

それは、「手で転がすと、自然と腰が低くなる。」という一文です。なぜなら、僕は今までの練習では、コロコロなどは、入り方の練習だけをするのだと、この3年間思っていました。なので入り方だけでいうと、自分自身すごい成長しているなど感じます。ただ、一文を読んで、入り方だけではなかったんだと、この本を読んで今、気付かされました。もう少し早く、コロコロの意図を分かっていたら、もっとプレーが上達していたのではないかと少し後悔しています。

ただこの本を読んで、今からでも遅くないということは、学ばせてもらったので、これからのコロコロや守備練習では、入り方だけでなく、しっかり腰も落として、これからの野球人生に、挑んでいきたいと思えます。

このようなことに気付かせてくれたのは、この本を書いた阪長コーチのおかげです。本当にありがとうございました。

最後にこの本全体を通して、書かれてあることは、本当に全て僕たちの為だと思いました。置きTの打つポイントは常に体の正面で、ゲッツーでセカンドがもらう時は、左足で踏み、一発で投げる。セカンド正面に来たゴロは、切り返して投げるのではなく、バックスを使う、こういった阪長コーチから何回も教わった事が、書かれていました。なので、高校や大学へ行ってもこの本を読み続け、教わった事が脳みそから抜けないようにしようと感じました。本当に学ばせてもらいました。ありがとうございました。

### 「読書感想文 優秀賞」

3年生 三好 将太

僕はこの本を読んでドミニカに行ってみたいと思いました。その理由は2つあります。

1つ目は同じ年の野球をやっている人たちは普段どのようなことを思ったり意識したりしているかを聞いてみたいからです。その中ではおもにメジャーリーガーになるという目標に向かって日々練習していると書いていたけど、今の自分の大きな目標も同じメジャーリーガーですが、心の中では本気でその夢に向かって練習してはいないと思います。どちらかというと高校での事が頭の中にはたくさんあります。だからこそ本気でメジャーリーガーになろうとしている同じ年のドミニカ人を生で見てみたいです。

2つ目は練習している姿やグラウンドなどを見てみたいからです。僕は自主練習はランニング、素振り、守備練習、イメージトレーニング等をしています。でもドミニカの人とはどんな自主練習をしているかがとても気になります。

僕はドミニカの人たちがうらやましいと思う所があります。それはみんな大きな夢に向かって毎日練習や生活ができていることです。日本は中学の授業も朝から夕方までそれから塾に行き夜、練習もできる時間は限られています。でもその中でもやっぱりその限られた時間でどれだけ練習ができるかだと思います。僕は高校は寮に入って毎日野球づけの日々になります。でもそこでも部員は約60人、そこから9人に入るには誰にも負けない努力が必要です。ドミニカの人と同じだと思います。結局夢をつかむには努力で全員に勝つしかありません。僕は人に負けるのが大嫌いです。だから誰にも負けないために努力し続けていきたいです。

将来は日本一のプレイヤーになってアメリカに行き世界一のプレイヤーになりたいです。